

対象校No.
注4

学校コード F113310103260
注3

設置年度

令和 7年度

計画の区分： 学部を設置
注1

届出

注2
東京家政学院大学 生活共創学部 生活共創学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人東京家政学院
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務部 総務室
職名・氏名	フチウ ツボイマサヨシ 部長・坪井雅義
電話番号	03-3262-2259
(夜間)	03-3262-2251 (代表)
e-mail	soumu-g@kasei-gakuin.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

生活共創学部

＜生活共創学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教育研究実施組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人東京家政学院

(2) 大 学 名

東京家政学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒194-0292 (102-8341)
東京都町田市相原町2600 (東京都千代田区三番町22)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	ヨシタケ ヒロミチ 吉武 博通 (令和2年6月)		
学 長	タカノ ケイコ 鷹野 景子 (令和3年4月)		
学 部 長	シライ アツシ 白井 篤 (令和7年4月)		
学科長等	シライ アツシ 白井 篤 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停止 について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生活共創学部 生活共創学科 学士 （生活共創学）	家政関係	4 年	197 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	788 人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 197 (－) [0]	人 － (－) [－]	－	0.21 倍	－ 倍	
志願者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 74 (－) [0]	人 － (－) [－]				
受験者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 70 (－) [0]	人 － (－) [－]				
合格者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 67 (－) [0]	人 － (－) [－]				
B 入学者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 41 (－) [0]	人 － (－) [－]				
入学定員超過率 B/A	－		－		－		－		－		0.21					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	41 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次				－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次						－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)
4 年次								－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)
計				－ [－] (－)				－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		41 [－] (－)

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	41 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜生活共創学部 生活共創学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					外 の 教 員 等
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	リテラシー	リテラシー演習	1前	1				3		1		3
		データサイエンス入門	1前		2							1
		デジタル&AI基礎	1後		2							1
		情報リテラシー基礎	1前		2							1
		コンピュータ演習a	1前		1		1					1
	教養教育	コンピュータ演習b	1後		1		1					
		哲学入門	1前		2							1
		心理学	1前		2		1					
		世界の歴史	1後		2							1
		ジェンダー論	1後		2							1
		人権と平和	1前		2							1
		法学入門（日本国憲法）	1通		2							1
		法とくらし	1後		2							1
		経済学入門	1後		2							1
		基礎数学	1前		2							1
		基礎統計学	1後		2							1
		基礎化学	1前		2							1
		基礎生物学	1前		2							1
		環境と資源	1後		2							1
		自然科学に親しむ	1前		2							1
		現代社会と家政学	1前		2							1
		色彩論	1後		2							1
	グローバルスタディーズ	英語コミュニケーション1	1前		2		1					1
		英語コミュニケーション2	1後		2		1					1
		英語セミナー	2前		2		1					1
		韓国語コミュニケーション1	1前		2							1
		韓国語コミュニケーション2	1後		2							1
		中国語コミュニケーション1	1前		2							1
		中国語コミュニケーション2	1後		2							1
		異文化コミュニケーション	1前		2							1
		異文化交流a	1前		2		1					1
		異文化交流b	1後		2		1					1
	※事日程本 学・部・日本 生科目	アカデミック・ジャパニーズ1	1前	2			1					
		アカデミック・ジャパニーズ2	1後	2			1					
		日本の歴史と文化	1前	2								1
		社会人としての日本語	1後		2							1
	キャリア	キャリア形成概論	1前		2		1					
		キャリア実践演習1	1前		2		1					2
		キャリア実践演習2	1後		2		1					2
		キャリアアドバンストゼミa	2前		2		1					
	ウエルネス	キャリアアドバンストゼミb	2後		2		1					
		心と身体の健康	1前		2							1
		健康スポーツ演習a	1前		1							2
		健康スポーツ演習b	1後		1							2
		健康スポーツ演習c	1休		2							2
		体育講義	1後		1							1
		体育実技	1後		1							1
		森の体験活動	1前		2							1
	小計（48科目）	—	—	7	82	0	2	4		1		32
学部共通科目	生活科学	生活共創学概論	1前	○	2		3	2		1		5
		食科学概論	1後	○	2			1				
		住環境デザイン概論	1前	○	2			1				
		被服学概論	1後	○	2		2					
		こども学概論	1前	○	2							1
		生活イノベーション概論	1前	○	2		1	2				3
	生活共創基礎	AI時代の生活科学	1後	○	2			1				
		リーダーシップ基礎	1前		2							1
		マーケティング基礎	1後		2							1
		データサイエンス基礎（生活とデータ）	2前		2							1
		ロジカルシンキングとデザイン思考	1後		2							1
		小計（11科目）	—	—	2	20	0	5	4		1	12
専門教育科目	ゼミナール	初年次ゼミA	1前	○	2		6	4				
		初年次ゼミB	1後	○	2		5	2				
		共創プロジェクトゼミA	2前	○	2		13	9		1		
		共創プロジェクトゼミB	2後	○	2		1	1		1		
		小計（4科目）	—	—	6	2	0	13	9		1	
	食科学基礎	創食造の	1前		2							1
		比較食文化・食生活論	1後		2							1
		食科学の	1前		2			1				1
		こどもの食とアレルギー	2後		2							
	機構人 能造体との	解剖生理学Ⅰ（解剖学）	1後		2							1
		解剖生理学Ⅱ（生理学）	2前		2							1
		解剖生理学実習	2前	○	1			1				
		衛生食品と	1後	○	2		1					
	栄養と健康	食品学総論	2前	○	2		1					
		食品学各論	2前	○	2		1					
		食品学実験	2前	○	1							
		基礎栄養学	2前	○	2			1				
	営 運食	基礎調理学実習	1後	○	2			1				
		調理学	1前	○	2			1				
		強化科目	1前	○	2		1					
		栄養士論	1前	○	2							

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					外 の 教 員 等
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	リテラシー	リテラシー演習	1前		1			3		1		3
		データサイエンス入門	1前		2							1
		デジタル&AI基礎	1後		2							1
		情報リテラシー基礎	1前		2							1
		コンピュータ演習a	1前		1		1					1
	教養教育	コンピュータ演習b	1後		1		1					
		哲学入門	1前		2							1
		心理学	1後		2			0				1
		世界の歴史	1後		2							1
		ジェンダー論	1後		2							1
		人権と平和	1前		2							1
		法学入門（日本国憲法）	1通		2							1
		法とくらし	1後		2							1
		経済学入門	1後		2							1
		基礎数学	1前		2							1
		基礎統計学	1後		2							1
		基礎化学	1前		2							1
		基礎生物学	1前		2							1
		環境と資源	1後		2							1
		自然科学に親しむ	1前		2							1
		現代社会と家政学	1前		2							1
		色彩論	1後		2							1
	グローバルスタディーズ	英語コミュニケーション1	1前		2		1					1
		英語コミュニケーション2	1後		2		1					1
		英語セミナー	2前		2		1					1
		韓国語コミュニケーション1	1前		2							1
		韓国語コミュニケーション2	1後		2							1
		中国語コミュニケーション1	1前		2							1
		中国語コミュニケーション2	1後		2							1
		異文化コミュニケーション	1前		2							1
		異文化交流a	1前		2		1					1
		異文化交流b	1後		2		1					1
	※事日程本 学・部・日本 生科目	アカデミック・ジャパニーズ1	1前	2				1				
		アカデミック・ジャパニーズ2	1後	2				1				
		日本の歴史と文化	1前	2								1
		社会人としての日本語	1後		2							1
	キャリア	キャリア形成概論	1前		2		1					
		キャリア実践演習1	1前		2		1					2
		キャリア実践演習2	1後		2		1					2
		キャリアアドバンストゼミa	2前		2		1					
	ウエルネス	キャリアアドバンストゼミb	2後		2		1					
		心と身体の健康	1前		2							1
		健康スポーツ演習a	1前		1							2
		健康スポーツ演習b	1後		1							2
		健康スポーツ演習c	1休		2							2
		体育講義	1後		1							1
		体育実技	1後		1							1
		森の体験活動	1前		2							1
	小計（48科目）	—	—	7	82	0	2	4		1		33
学部共通科目	生活科学	生活共創学概論	1前	○	2		3	2		1		5
		食科学概論	1後	○	2			1				
		住環境デザイン概論	1前	○	2			1				
		被服学概論	1後	○	2		2					
		こども学概論	1前	○	2							1
		生活イノベーション概論	1前	○	2		1	2				3
	生活共創基礎	AI時代の生活科学	1後	○	2			1				
		リーダーシップ基礎	1前		2							1
		マーケティング基礎	1後		2							1

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					外 の 教 員 を 用 意 す る
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
				條	組	由	員	員	員	員	員	
専門 教育 科目	食 科 学 科 教 科 目 教	被服学演習	2前			2	1			1		
		家庭経営学概論	1後			2	1			1		
		保育学	3後			2						1
	住 環 境 デ ザ イ ン	小計 (17科目)	—	—	0	32	0	5	3	1		4
		住居デザイン演習A	1前	○		2	1	1				
		住居デザイン演習B	1後	○		2	1	1				
		住居デザイン演習C	2前	○		2	1					2
		住居デザイン演習D	2後	○		2	1					2
		建築史A	1後	○		2						1
		建築史B	2後	○		2						1
		住環境マネジメント論	1後	○		2	1					
		住居計画	2前	○		2	1					
		福祉住環境	2後	○		2	1					
		施建 工 築 構 造 ・ 施	構造力学A	2後		2						1
		住宅設計論	2前	○		2	1					
		構法計画	2後	○		2	1					
		インテリア材料	2前	○		2	1					
		園芸	ガーデニング概論	1後	○	2	1					
		園芸論	2後	○	2	2	1					
		ガーデニング実習 I	2前	○	2	2	1					1
		小計 (16科目)	—	—	0	32	0	4	1			5
	生 活 イ ノ ベ ー シ ョ ン	多感覚感受とデジタルデトックス	1前	○		2						2
		ダイエット&フィットネス	1後	○		2						1
		マネーフローの世界と暮らし	2後			2						1
		生活イノベーション最前線	2前	○		2						1
		Society 5.0論	1前			2						1
		行動経済学	2後			2						1
		知的財産権を学ぶ	1中			2						3
		ビジネスイノベーション	2前	○		2		1		1		
		ビジネストレンドキーワードを読み解く	2前			2						
		小計 (8科目)	—	—	0	16	0	1		1		10
	専 門 発 展	食 の 創 造	食生産体験演習A	1前		1						1
		食生産体験演習B	1後		1	1						1
		応用調理学実習	2前	○	2	2	1					
		食品の企画と設計	3後		2	2	1					
		食空間コーディネート論	2後		2	2						1
		科 学 の 食	食品機能学	3前		2		1				
		食科学総合演習	4前		2	2	6	3				
		康 社 と 食 生 産	公衆衛生学 I (総論)	2後		2						1
		公衆衛生学 II (各論)	3前		2	2						1
		生 化 学 (総論)	2後		2	2						1
		代謝栄養学 (生化学各論)	3前		2	2						1
		栄養学・生化学実験	2後	○	1	1	1	1				
専門 教育 科目	食 科 学	食 品 衛 生 学	食品衛生学	3前	○	2	1					
		食品衛生学実験	3後	○	1	1	1					
		栄 養 と 健 康	応用栄養学	2後	○	2						
		栄養学各論実習	3後	○	1	1	1					
		臨床栄養学総論	3前	○	2	2	1					
		臨床栄養学各論	3後	○	2	2	1					
		臨床栄養学実習	3後		1	1						1
		栄養学実習	3前	○	1	1	1					
		栄 養 の 指 導	栄養指導論	3前	○	2	1					
		栄養指導実習	3後	○	1	1	1					
		栄養カウンセリング論	3前	○	2	2	1					
		栄養カウンセリング実習	3後	○	1	1	1					
		公衆栄養学	3前	○	2	2	1					
		公衆栄養学実習	3後	○	1	1	1					
	給 食 の 運 営	給食管理学	2前	○		2	1					
		校内給食管理実習	3前	○		1	1					
		校外給食管理実習	3後	○		1	1					
		調理科学実験	2後	○		1	1					
		強化科目	栄養士総合演習	2後	○	1	1					
		小計 (31科目)	—	—	0	48	0	6	3			5
	住 環 境 デ ザ イ ン	建 築 設 計	建築デザイン演習A	3前	○	2	1					2
		建築デザイン演習B	3後		2	2	1					2
		住居CAD演習	2後	○		2		1				
		建築CAD演習	3前		2	2						1
		建築総合演習	4前		2	2						1
		建 築 計 画 ・ 環 境	建築計画	3前	○	2		1				
		インテリアデザイン論	3前	○	2	2	1					
		地域デザイン論	3後		2	2	1					
		建築環境学A	2前		2	2						1
		建築環境学B	3前		2	2						1
		住居設備	2後		2	2						1
		建築環境システム	3後		2	2						1
		建築法規	3後	○		2	1					
	工 建 築 構 造 ・ 施 工	構造力学B	3前			2						1
		構造力学C	4前			2						1
		構造計画	3後			2						1
		建築材料科学	3前			2	1					
		建築施工	3後	○		2	1					
		園 芸	ガーデニング実習 II	2後	○	2	1					1
		ガーデンマテリアルズ	2前	○	2	2	1					
		インテリアグリーン	2後		2	2						1
		エクステリア演習	3前	○	2	2	1					1
		社会園芸	3前		2	2						1
		ランドスケープデザイン論	3後		2	2						1
		小計 (24科目)	—	—	0	48	0	4	1			10

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					外 の 教 員 を 用 意 す る		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門 教育 科目	食 科 学 科 教 科 目 教	被服学演習	2前			2				1				
		家庭経営学概論	1後			2				1				
		保育学	3後			2						1		
	住 環 境 デ ザ イ ン	小計 (17科目)	—	—	0	32	0	5	3		1		4	
		建 築 設 計	住居デザイン演習A	1前	○		2	1	1					
			住居デザイン演習B	1後	○		2		1	1				
			住居デザイン演習C	2前	○		2		1				2	
			住居デザイン演習D	2後	○		2		1				2	
		境 域 建 築 計 画 ・ 環 境	建築史A	1後	○		2						1	
			建築史B	2後	○		2						1	
			住環境マネジメント論	1後	○		2		1					
			住居計画	2前	○		2		1					
		施 工 建 築 構 造 ・ 施	福祉住環境	2後	○		2		1					
			構造力学A	2後			2						1	
			住宅設計論	2前	○		2		1					
			構法計画	2後	○		2		1					
		園 芸	インテリア材料	2前	○		2		1					
			ガーデニング概論	1後	○		2		1					
			園芸論	2後	○		2		1					
			ガーデニング実習Ⅰ	2前	○		2		1				1	
		生 活 イ ノ ベ ー シ ョ ン	小計 (16科目)	—	—	0	32	0	4	1				5
	ライ フ ウェ ル ネ ス		多感覚感受とデジタルデトックス	1後	○		2						2	
			ダイエット&フィットネス	1後	○		2						1	
			マネーフローの世界と暮らし	2後			2						1	
	フュー チャー ライフ		生活イノベーション最前線	2前	○		2						1	
			Society 5.0論	1前			2						1	
			行動経済学	2後			2						1	
	ビ ジ ネ ス イ ノ ベ ー シ ョ ン		知的財産権を学ぶ	1前			2						3	
			ビジネスイノベーション	2前	○		2		1		1			
			ビジネストレンドキーワードを読み解く	2前			2							
	専 門 発 展	食 科 学	小計 (8科目)	—	—	0	16	0		1	1		10	
			食 の 創 造	食生産体験演習A	1前			1						1
				食生産体験演習B	1後			1						1
		応用調理学実習		2前	○		2		1					
		食品の企画と設計		3後			2		1					
		科 学 の 食	食空間コーディネート論	2後			2						1	
			食品機能学	3前			2		1					
			食科学総合演習	4前			2		6	3				
		康 社 と 食 生 産	公衆衛生学Ⅰ(総論)	2後			2						1	
			公衆衛生学Ⅱ(各論)	3前			2						1	
		専 門 教 育 科 目	食 科 学	生 化 学 (総論)	2後			2						1
					代謝栄養学(生化学各論)	3前			2					
	栄養学・生化学実験				2後	○		1		1	1			
衛 生 食 品 と 健 康	食品衛生学			3前	○		2		1					
	食品衛生学実験			3後	○		1		1					
	応用栄養学			2後	○		2			1				
栄 養 と 健 康	栄養学各論実習			3後	○		1			1				
	臨床栄養学総論			3前	○		2			1				
	臨床栄養学各論			3後	○		2			1				
	臨床栄養学実習			3後	○		1						1	
	栄養学実習			3前	○		1			1				
	栄 養 の 指 導			栄養指導論	3前	○		2		1				
栄養指導実習			3後	○		1		1						
栄養カウンセリング論			3前	○		2		1						
栄養カウンセリング実習			3後	○		1		1						
公衆栄養学			3前	○		2		1						
公衆栄養学実習			3後	○		1		1						
給 食 の 運 営	給食管理学		2前	○		2		1						
	校内給食管理実習		3前	○		1		1						
	校外給食管理実習		3後	○		1		1						
	調理科学実験		2後	○		1			1					
	無化科目		栄養士総合演習	2後	○		1		1					
			小計 (31科目)	—	—	0	48	0	6	3				5
住 環 境 デ ザ イ ン	建 築 設 計		建築デザイン演習A	3前	○		2		1				2	
		建築デザイン演習B	3後			2		1				2		
		住居CAD演習	2後	○		2			1					
		建築CAD演習	3前			2						1		
		建築総合演習	4前			2						1		
	建 築 計 画 ・ 環 境	建築計画	3前	○		2		1						
		インテリアデザイン論	3前	○		2		1						
		地域デザイン論	3後			2			1					
		建築環境学A	2前			2						1		
		建築環境学B	3前			2						1		
		住居設備	2後			2						1		
		建築環境システム	2後			2						1		
		建築法規	3後	○		2		1						
	工 建 築 構 造 ・ 施	構造力学B	3前			2						1		
		構造力学C	4前			2						1		
		構造計画	3後			2						1		
		建築材料学	3前			2		1						
		建築施工	3後	○		2		1						
	園 芸	ガーデニング実習Ⅱ	2後	○		2						1		
		ガーデンマテリアルズ	2前	○		2		1						
		インテリアグリーン	2後			2						1		
		エクステリア演習	3前	○		2		1				1		
		社会園芸	3前			2						1		
	ランドスケープデザイン論	3後			2						1			
小計 (24科目)	—	—	0	48	0	4	1				10			

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					他 の 教 員 等	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	生活 イ ン フ ォ ー メ ー シ ョ ン	社会現象と哲学	2前	○	2							1	
		ミュージッキング	1後		2							2	
		サステナブルファッション	2後	○	2		1						
		クールジャパン（日本文化とテクノロジー）	2前	○	2								
		ユニバーサルデザインⅠ（生活）	2後		2							1	
		ユニバーサルデザインⅡ（環境）	3前		2							1	
		アシスティブ・テクノロジー	3前	○	2							1	
		アントレ・イントレプレナーシップ	3前		2							1	
	ビジ ネ ス イ ノ ベ ー シ ョ ン	SNSプロモーションとマーケティング	2後		2							1	
		感性デザイン	2後	○	2			1					
		イノベーションデザイン演習	3前		2			1					
		ドローン活用とビジネス	2集中		2			1				1	
		ビジネスイノベーション研究（ケーススタディⅠ）	3前	○	2							1	
		起業・創業プロジェクト	3前	○	2							1	
		小計（19科目）	—	—	0	38	0	3	2	1		9	
専門 教育 科目	生活 イ ン フ ォ ー メ ー シ ョ ン	地域課題を考える	2後	○	2							1	
		社会起業と非営利組織	3後		2							1	
		地域イノベーション研究（ケーススタディⅡ）	3後	○	2		1						
		地域イノベーション演習（PBL）	4前	○	2		2	1		1		1	
		国際貢献活動	2前		2							1	
		小計（5科目）	—	—	12	0	0	11	8		1		
	業 卒 論 文 研 究 ・ 卒 業 論文 ・ 卒業 制作	アドバンストゼミA	3前	○	2			11	8		1		
		アドバンストゼミB	3後	○	2				11	8		1	
		卒業研究A	4前	○	2				11	8		1	
		卒業研究B	4後	○	2				11	8		1	
		卒業論文・卒業制作	4通	○	4				11	8		1	
		小計（5科目）	—	—	12	0	0	11	8		1		
合計（183科目）		—	—	27	318	0	14	9		1	69		
卒業要件及び履修方法													
修業年限及び卒業必要単位数の要件を満たしていなければならない。4年間で在学し、共通教育科目を14単位（必修1単位、選択13単位、うちグローバルスタディズ科目群から4単位）以上、学部共通科目を必修2単位、選択6単位以上、ゼミナールの必修6単位、基礎科目・発展科目（すべて選択）は54単位以上、卒業研究・卒業論文（必修）12単位、合計124単位以上修得しなければならない。広く学べるよう選択科目が多いが、資格取得のために必ず履修しなければならない科目についてはカリキュラムマップ・カリキュラムツリーで指導する。 なお、履修科目の登録上限は年間44単位であるが、成績上位者には制限を緩和する。 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））													

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						外 部 の 教 員 等		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専門 教育 科目	生活 イ ン フ ォ ー メ ー シ ョ ン	社会現象と哲学	2前	○	2								1		
		ミュージッキング	1後		2								2		
		サステナブルファッション	2後	○	2		1								
		クールジャパン（日本文化とテクノロジーの融合）	2前	○	2								1		
		ユニバーサルデザインⅠ（生活）	2後		2								1		
		ユニバーサルデザインⅡ（環境）	3前		2								1		
		アシスティブ・テクノロジー	3前	○	2								1		
		アントレ・イントレプレナーシップ	3前		2								1		
		SNSプロモーションとマーケティング	2後		2								1		
		感性デザイン	2後	○	2			1							
		イノベーションデザイン演習	3前		2			1							
		ドローン活用とビジネス	2集中		2			1					1		
		ビジネスイノベーション研究（ケーススタディⅠ）	3前	○	2								1		
		起業・創業プロジェクト	3前	○	2								1		
		専門 教育 科目	生活 イ ン フ ォ ー メ ー シ ョ ン	地域課題を考える	2後	○	2								1
社会起業と非営利組織	3後				2								1		
地域イノベーション研究（ケーススタディⅡ）	3後			○	2		1								
地域イノベーション演習（PBL）	4前			○	2		2	1		1			1		
国際貢献活動	2前				2								1		
小計（19科目）	—			—	0	38	0	3	2	1			9		
卒業 論文 文 研 究 ・ 卒 業 論文 ・ 卒業 制作	アドバンストゼミA			3前	○	2		11	8		1				
	アドバンストゼミB			3後	○	2		11	8		1				
	卒業研究A			4前	○	2		11	8		1				
	卒業研究B			4後	○	2		11	8		1				
	卒業論文・卒業制作			4通	○	4		11	8		1				
	小計（5科目）			—	—	12	0	0	11	8		1			
	合計（183科目）			—	—	27	318	0	14	9	1			69	
卒業要件及び履修方法															
修業年限及び卒業必要単位数の要件を満たしていなければならない。4年間で在学し、共通教育科目を14単位（必修1単位、選択13単位、うちグローバルスタディズ科目群から4単位）以上、学部共通科目を必修2単位、選択6単位以上、ゼミナール科目の必修6単位、基礎科目・発展科目（すべて選択）は54単位以上、卒業研究・卒業論文（必修）12単位、合計124単位以上修得しなければならない。広く学べるよう選択科目が多いが、資格取得のために必ず履修しなければならない科目についてはカリキュラムマップ・カリキュラムツリーで指導する。 なお、履修科目の登録上限は年間44単位であるが、成績上位者には制限を緩和する。 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））															

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字の赤字**としてください。
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例: 記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・ 教員1名が退職となったため、「心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」「基幹教員以外の教員0」から「准教授0」「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・ 教員1名が退職となったため、「共創プロジェクトゼミA」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更。

- (注) ・ (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
13 科目	170 科目	0 科目	183 科目	13 科目 []	170 科目 []	0 科目 []	183 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	132,245 m ²	0 m ²	0 m ²	132,245 m ²				
	そ の 他	7,699 m ²	0 m ²	0 m ²	7,699 m ²				
	合 計	139,944 m ²	0 m ²	0 m ²	139,944 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
		40,233 m ² (40,233 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	40,233 m ² (40,233 m ²)				
(3)教室・教員研究室		教 室	35 —36— 室	教員研究室	37 室	教室を、男子ロッカー更衣室として変更した。			
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	電子図書	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル	機械・器具 点	標本 点	電子図書の減少は契約データベースの登録タイトル数減少による。 学術雑誌種数の減少は保存年限を過ぎた雑誌・紀要を除籍したことによる。	
		冊 〔うち外国書〕	種 〔うち外国書〕						
	生活共創学部	299,120 [32,625] 296,590 [32,534] (296,600 [32,535]) -(296,590 [32,534])	1,596 [0] 2,073 [0] (1,593 [0]) -(2,073 [0])	3,889 [484] 3,976 [483] (3,889 [484]) -(3,976 [483])	36 [15] 32 [20] (34 [15]) -(32 [20])	1,252 (1,252)	33 (33)		
	計	299,120 [32,625] 296,590 [32,534] (296,600 [32,535]) -(296,590 [32,534])	1,596 [0] 2,073 [0] (1,593 [0]) -(2,073 [0])	3,889 [484] 3,976 [483] (3,889 [484]) -(3,976 [483])	36 [15] 32 [20] (34 [15]) -(32 [20])	1252 (1,252)	33 (33)		
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
		4, 863 m ²		1, 184 m ²		6, 564 m ²			
(6) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	300 千円	300 千円	図書購入費	1, 500 千円	1, 500 千円	1, 500 千円	
		共 同 研 究 費 等	500 千円	500 千円	設備購入費	5, 000 千円	5, 000 千円	5, 000 千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1, 330 千円	1, 080 千円	1, 080 千円	1, 080 千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、雑収入 等						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	東京家政学院大学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収容 定 員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考	
生活共創学部	4	247	3 年次 0	988	—	0.21	—	—	令和7	—	東京都町田市相原町2600	
生活共創学科	4	127	0	508	学士 (生活共創学)	0.13	—	令和7	令和7	同上		
食学科コース	4	70	0	280	学士 (生活共創学)	0.34	—	令和7	令和7	同上		
こども教育学科	4	50	0	200	学士 (こども教育学)	0.26	—	令和7	令和7	同上		
現代生活学部	4	130	5	530	—	0.57	—	—	平成22	—	東京都千代田区三番町22	
現代家政学科	4	130	5	530	学士 (家政学)	0.57	—	—	平成22	同上		
生活デザイン学科	4	—	—	—	学士 (家政学)	—	—	—	平成22	同上		
食物学科	4	—	—	—	学士 (家政学)	—	—	—	平成30	同上		
児童学科	4	—	—	—	学士 (児童学)	—	—	—	平成22	同上	東京都千代田区三番町22	
人間栄養学部	4	140	0	560	—	0.81	—	—	平成30	—		
人間栄養学科	4	140	0	560	学士 (栄養学)	0.81	—	—	平成30	同上		
大学全体	4	517	3 年次 5	2078	—	—	—	—	—	—		

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開採用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

＜生活共創学部 生活共創学科＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	右網 史子 (53) ＜令和9年4月＞ 博士(農学)
		初年次ゼミB ガーデニング概論 共創プロジェクトゼミA ガーデニング実習Ⅰ ガーデンマテリアルズ 園芸論 ガーデニング実習Ⅱ エクステリア演習 アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主 専)	准教授	右網 史子 (51) ＜令和7年9月＞ 博士(農学)
		初年次ゼミB ガーデニング概論 共創プロジェクトゼミA ガーデニング実習Ⅰ ガーデンマテリアルズ 園芸論 ガーデニング実習Ⅱ
基 (主 専)	教授	海野 るみ (62) ＜令和7年4月＞ 博士(人文科学)
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 初年次ゼミB 英語セミナー 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主 専)	教授	大嶋 孝之 (60) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		初年次ゼミA 食品学総論 共創プロジェクトゼミA 食品学各論 食品学実験 栄養学・生化学実験 ※ 食品衛生学 アドバンストゼミA 食品衛生学実験 アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	右網 史子 (53) ＜令和9年4月＞ 博士(農学)
		初年次ゼミB ガーデニング概論 共創プロジェクトゼミA ガーデニング実習Ⅰ ガーデンマテリアルズ 園芸論 ガーデニング実習Ⅱ エクステリア演習 アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主 専)	准教授	右網 史子 (51) ＜令和7年9月＞ 博士(農学)
		初年次ゼミB ガーデニング概論 共創プロジェクトゼミA ガーデニング実習Ⅰ ガーデンマテリアルズ 園芸論 ガーデニング実習Ⅱ
基 (主 専)	教授	高橋 孝子 (70(高)) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2 英語セミナー 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主 専)	教授	大嶋 孝之 (60) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		初年次ゼミA 食品学総論 共創プロジェクトゼミA 食品学各論 食品学実験 栄養学・生化学実験 ※ 食品衛生学 アドバンストゼミA 食品衛生学実験 アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	教授	大甲 佳子 (66(高)) ＜令和7年4月＞ 栄養学士
		初年次ゼミA 栄養士論 共創プロジェクトゼミA 給食管理学 栄養士総合演習 校内給食管理実習 アドバンストゼミA 校外給食管理実習 アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	笠松 千夏 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		初年次ゼミA 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	河田 敦子 (65(高)) ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		初年次ゼミB 家庭経営学概論 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	小池 孝子 (57) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		生活共創学概論 奈 初年次ゼミA 住居デザイン演習A 住居デザイン演習B 住環境マネジメント論 共創プロジェクトゼミA 住居計画 福祉住環境 建築計画 アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (専)	教授	佐々木 ひとみ (66) ＜令和7年4月＞ 修士(カウンセリング)
		キャリア形成概論 キャリア実践演習1 キャリア実践演習2 キャリアアドバンストゼミa キャリアアドバンストゼミb
基 (主専)	教授	白井 篤 (65(高)) ＜令和7年4月＞ 工学博士
		初年次ゼミA 共創プロジェクトゼミA インテリア材料 構法計画 建築材料科学 アドバンストゼミA 建築施工 アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	教授	大甲 佳子 (66) ＜令和7年4月＞ 栄養学士
		初年次ゼミA 栄養士論 共創プロジェクトゼミA 給食管理学 栄養士総合演習 校内給食管理実習 アドバンストゼミA 校外給食管理実習 アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	笠松 千夏 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		初年次ゼミB 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	河田 敦子 (65) ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		初年次ゼミA 家庭経営学概論 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	小池 孝子 (57) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		生活共創学概論 奈 初年次ゼミA 住居デザイン演習A 住居デザイン演習B 住環境マネジメント論 共創プロジェクトゼミA 住居計画 福祉住環境 建築計画 アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (専)	教授	佐々木 ひとみ (66) ＜令和7年4月＞ 修士(カウンセリング)
		キャリア形成概論 キャリア実践演習1 キャリア実践演習2 キャリアアドバンストゼミa キャリアアドバンストゼミb 初年次ゼミB
基 (主専)	教授	白井 篤 (65) ＜令和7年4月＞ 工学博士
		初年次ゼミA 共創プロジェクトゼミA インテリア材料 構法計画 建築材料科学 アドバンストゼミA 建築施工 アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	教授	花田 朋美 (58) ＜令和8年4月＞ 博士(被服環境学)
		生活共創学概論 ※ 被服学概論 ※ 初年次ゼミB 共創プロジェクトゼミA 被服学演習 ※ 共創プロジェクトゼミB サステナブルファッション アドバンストゼミA アドバンストゼミB 地域イノベーション演習 (PBL) 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	花田 朋美 (57) ＜令和7年4月＞ 博士(被服環境学)
		生活共創学概論 ※ 被服学概論 ※ 初年次ゼミB
基 (主専)	教授	原口 秀昭 (66(高)) ＜令和7年4月＞ 工学修士※
		共創プロジェクトゼミA 住居デザイン演習C 住宅設計論 住居デザイン演習D 建築デザイン演習A インテリアデザイン論 アドバンストゼミA 建築デザイン演習B 建築法規 アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	三澤 朱実 (67(高)) ＜令和7年4月＞ 博士(生活科学)
		生活共創学概論 ※ 共創プロジェクトゼミA 栄養指導論 栄養カウンセリング論 公衆栄養学 アドバンストゼミA 栄養指導実習 栄養カウンセリング実習 公衆栄養学実習 アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	嶋田 芳男 (64(高)) ＜令和7年4月＞ 博士(公共政策学)
		生活イノベーション概論 ※ 初年次ゼミB 共創プロジェクトゼミA 地域イノベーション研究 (ケーススタディⅡ)
基 (主専)	教授	富田 弘実 (65(高)) ＜令和7年4月＞ 修士(被服)※
		初年次ゼミA 被服学概論 ※ 共創プロジェクトゼミA 被服学演習 ※ 地域イノベーション演習 (PBL)

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	教授	花田 朋美 (58) ＜令和8年4月＞ 博士(被服環境学)
		生活共創学概論 ※ 被服学概論 ※ 初年次ゼミB 共創プロジェクトゼミA 被服学演習 ※ 共創プロジェクトゼミB サステナブルファッション アドバンストゼミA アドバンストゼミB 地域イノベーション演習 (PBL) 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	花田 朋美 (57) ＜令和7年4月＞ 博士(被服環境学)
		生活共創学概論 ※ 被服学概論 ※ 初年次ゼミB
基 (主専)	教授	原口 秀昭 (66) ＜令和7年4月＞ 工学修士※
		共創プロジェクトゼミA 住居デザイン演習C 住宅設計論 住居デザイン演習D 建築デザイン演習A インテリアデザイン論 アドバンストゼミA 建築デザイン演習B 建築法規 アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	三澤 朱実 (67(高)) ＜令和7年4月＞ 博士(生活科学)
		生活共創学概論 ※ 共創プロジェクトゼミA 栄養指導論 栄養カウンセリング論 公衆栄養学 アドバンストゼミA 栄養指導実習 栄養カウンセリング実習 公衆栄養学実習 アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	教授	嶋田 芳男 (64) ＜令和7年4月＞ 博士(公共政策学)
		生活イノベーション概論 ※ 初年次ゼミB 共創プロジェクトゼミA 地域イノベーション研究 (ケーススタディⅡ)
基 (主専)	教授	富田 弘実 (65) ＜令和7年4月＞ 修士(被服)※
		初年次ゼミA 被服学概論 ※ 共創プロジェクトゼミA 被服学演習 ※ 地域イノベーション演習 (PBL)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	准教授	岩本 直樹 (48) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		生活共創学概論 ※
		生活イノベーション概論 ※
		初年次ゼミB
		共創プロジェクトゼミA
		解剖生理学実習
		基礎栄養学
		共創プロジェクトゼミB
		栄養学・生化学実験 ※
		応用栄養学
基 (主専)	准教授	臨床栄養学総論
		栄養学実習
		アドバンストゼミA
		栄養学各論実習
		臨床栄養学各論
		アドバンストゼミB
		食科学総合演習
		卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
		卒業研究B
基 (主専)	准教授	呉 起東 (56) ＜令和7年4月＞ 修士(デザイン学)
		初年次ゼミA
		共創プロジェクトゼミA
		ドローン活用とビジネス ※
		感性デザイン
		イノベーションデザイン演習
		アドバンストゼミA
		アドバンストゼミB
		卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
基 (主専)	准教授	小川 圭子 (46) ＜令和7年4月＞ 博士(建築学)
		生活共創学概論 ※
		住環境デザイン概論
		生活イノベーション概論 ※
		住居デザイン演習A
		初年次ゼミB
		住居デザイン演習B
		共創プロジェクトゼミA
		住居CAD演習
		アドバンストゼミA
基 (主専)	准教授	地域デザイン論
		アドバンストゼミB
		卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
		卒業研究B
基 (主専)	准教授	加地 雄一 (47) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		心理学
		初年次ゼミA
		共創プロジェクトゼミA
		アドバンストゼミA
		アドバンストゼミB
		卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
		卒業研究B
基 (主専)	准教授	黒田 久夫 (64(高)) ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		初年次ゼミA
		有機化学
		食科学概論
		共創プロジェクトゼミA
		食品機能学
		アドバンストゼミA
		食品の企画と設計
		アドバンストゼミB
		食科学総合演習
基 (主専)	准教授	卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
		卒業研究B

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	准教授	岩本 直樹 (48) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		生活共創学概論 ※
		生活イノベーション概論 ※
		初年次ゼミB
		共創プロジェクトゼミA
		解剖生理学実習
		基礎栄養学
		共創プロジェクトゼミB
		栄養学・生化学実験 ※
		応用栄養学
基 (主専)	准教授	臨床栄養学総論
		栄養学実習
		アドバンストゼミA
		栄養学各論実習
		臨床栄養学各論
		アドバンストゼミB
		食科学総合演習
		卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
		卒業研究B
基 (主専)	准教授	呉 起東 (56) ＜令和7年4月＞ 修士(デザイン学)
		初年次ゼミA
		共創プロジェクトゼミA
		ドローン活用とビジネス ※
		感性デザイン
		イノベーションデザイン演習
		アドバンストゼミA
		アドバンストゼミB
		卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
基 (主専)	准教授	小川 圭子 (46) ＜令和7年4月＞ 博士(建築学)
		生活共創学概論 ※
		住環境デザイン概論
		生活イノベーション概論 ※
		住居デザイン演習A
		初年次ゼミB
		住居デザイン演習B
		共創プロジェクトゼミA
		住居CAD演習
		アドバンストゼミA
基 (主専)	准教授	地域デザイン論
		アドバンストゼミB
		卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
		卒業研究B
基 (主専)	准教授	黒田 久夫 (64) ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		初年次ゼミA
		有機化学
		食科学概論
		共創プロジェクトゼミA
		食品機能学
		アドバンストゼミA
		食品の企画と設計
		アドバンストゼミB
		食科学総合演習
基 (主専)	准教授	卒業研究A
		卒業論文・卒業制作
		卒業研究B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	准教授	千葉 一博 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(情報科学)
		リテラシー演習 ※ コンピュータ演習a コンピュータ演習b AI時代の生活科学 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	森 朋子 (62) ＜令和7年4月＞ M.A. (Linguistics-ESL Option)
		リテラシー演習 ※ 異文化交流a アカデミック・ジャパニーズ1 異文化交流b アカデミック・ジャパニーズ2 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	米澤 加代 (49) ＜令和7年4月＞ 博士(農芸化学)
		初年次ゼミA 調理学 基礎調理学実習 共創プロジェクトゼミA 応用調理学実習 調理科学実験 アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	澤田 雅彦 (64(高)) ＜令和7年4月＞ 工学修士
		リテラシー演習 ※ 共創プロジェクトゼミA ビジネストレンドキーワードを読み解く ※ グローバルジャパン（日本文化と1719の融合） 地域イノベーション演習 (PBL)
基 (主専)	助教	佐々木 麻紀子 (51) ＜令和7年4月＞ 修士(家政学)
		リテラシー演習 ※ 生活共創学概論 ※ 共創プロジェクトゼミA 被服学演習 ※ ビジネストレンドキーワードを読み解く※ 共創プロジェクトゼミB アドバンストゼミA アドバンストゼミB 地域イノベーション演習 (PBL) 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
その他	教授	内田 宗一 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
その他	教授	日本の歴史と文化 社会人としての日本語
その他	教授	江川 賢一 (53) ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ科学)
その他	教授	健康スポーツ演習c
その他	教授	江田 裕介 (66(高)) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)※
その他	教授	生活イノベーション概論 ※ 国際貢献活動 アシスティブ・テクノロジー 起業・創業プロジェクト 地域イノベーション演習 (PBL)

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	准教授	千葉 一博 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(情報科学)
		リテラシー演習 ※ コンピュータ演習a コンピュータ演習b AI時代の生活科学 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	森 朋子 (62) ＜令和7年4月＞ M.A. (Linguistics-ESL Option)
		リテラシー演習 ※ 異文化交流a アカデミック・ジャパニーズ1 異文化交流b アカデミック・ジャパニーズ2 共創プロジェクトゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	米澤 加代 (49) ＜令和7年4月＞ 博士(農芸化学)
		初年次ゼミA 調理学 基礎調理学実習 共創プロジェクトゼミA 応用調理学実習 調理科学実験 アドバンストゼミA アドバンストゼミB 食科学総合演習 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	准教授	澤田 雅彦 (64) ＜令和7年4月＞ 工学修士
		リテラシー演習 ※ 共創プロジェクトゼミA ビジネストレンドキーワードを読み解く ※ グローバルジャパン（日本文化と1719の融合） 地域イノベーション演習 (PBL) 初年次ゼミA アドバンストゼミA アドバンストゼミB 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
基 (主専)	助教	佐々木 麻紀子 (51) ＜令和7年4月＞ 修士(家政学)
		リテラシー演習 ※ 生活共創学概論 ※ 共創プロジェクトゼミA 被服学演習 ※ ビジネストレンドキーワードを読み解く※ 共創プロジェクトゼミB アドバンストゼミA アドバンストゼミB 地域イノベーション演習 (PBL) 卒業研究A 卒業論文・卒業制作 卒業研究B
その他	教授	内田 宗一 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
その他	教授	日本の歴史と文化 社会人としての日本語
その他	教授	江川 賢一 (53) ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ科学)
その他	教授	健康スポーツ演習c
その他	教授	江田 裕介 (66) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)※
その他	教授	生活イノベーション概論 ※ 国際貢献活動 アシスティブ・テクノロジー 起業・創業プロジェクト 地域イノベーション演習 (PBL)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	大橋 竜太 (60) ＜令和7年4月＞ 工学博士
		建築史A 建築史B
その他	教授	佐野 潤子 (56) ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		キャリア実践演習1 生活共創学概論 ※ キャリア実践演習2
その他	教授	新聞 よしみ (63) ＜令和7年4月＞ 家政学修士
		こども学概論 ミュージッキング 保育学
その他	教授	沼波 秀樹 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(水産学)
		基礎生物学 環境と資源
その他	教授	吉永 早苗 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(子ども学)
		生活共創学概論 ※ 生活イノベーション概論 ※ 多感覚感受とデジタルデトックス ミュージッキング 地域課題を考える
その他	教授	立川 泰史 (64(高)) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		多感覚感受とデジタルデトックス
その他	准教授	井上 清美 (51) ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		現代社会と家政学 生活共創学概論 ※
その他	准教授	新海 公昭 (43) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		基礎数学 基礎統計学
その他	准教授	マーク ルイス (65(高)) ＜令和7年4月＞ 英米文学修士
		異文化交流a 英語セミナー
その他	准教授	柳瀬 洋美 (58) ＜令和7年4月＞ 家政学修士
		心と身体健康 生活共創学概論 ※
その他	助教	伊藤 有紀 (55) ＜令和7年4月＞ 博士(生活科学)
		生活共創学概論 ※
その他	助教	佐藤(木村) 冬果 (35) ＜令和7年4月＞ 博士(体育マネジメント学)
		健康スポーツ演習c 森の体験活動
その他	助教	末松 加奈 (42) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		リテラシー演習 ※ キャリア実践演習1 キャリア実践演習2 生活イノベーション最前線 ビジネスイノベーション研究 (ケーススタディ1)
その他	助教	原田 晋吾 (41) ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		リテラシー演習 ※
その他	助教	松山 直輝 (37) ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		生活イノベーション概論 ※ ダイエット&フィットネス 社会現象と哲学

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	大橋 竜太 (60) ＜令和7年4月＞ 工学博士
		建築史A 建築史B
その他	教授	北見 由奈 (49) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		心理学 佐野 潤子 (56) ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
その他	教授	キャリア実践演習1 生活共創学概論 ※ キャリア実践演習2
		新聞 よしみ (63) ＜令和7年4月＞ 家政学修士
その他	教授	こども学概論 ミュージッキング 保育学
		沼波 秀樹 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(水産学)
その他	教授	基礎生物学 環境と資源
		吉永 早苗 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(子ども学)
その他	教授	生活共創学概論 ※ 生活イノベーション概論 ※ 多感覚感受とデジタルデトックス ミュージッキング 地域課題を考える
		立川 泰史 (64) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
その他	准教授	井上 清美 (51) ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		現代社会と家政学 生活共創学概論 ※
その他	准教授	新海 公昭 (43) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		基礎数学 基礎統計学
その他	准教授	マーク ルイス (65(高)) ＜令和7年4月＞ 英米文学修士
		異文化交流a 英語セミナー
その他	准教授	柳瀬 洋美 (58) ＜令和7年4月＞ 家政学修士
		心と身体健康 生活共創学概論 ※
その他	准教授	伊藤 有紀 (55) ＜令和7年4月＞ 博士(生活科学)
		生活共創学概論 ※
その他	助教	佐藤(木村) 冬果 (35) ＜令和7年4月＞ 博士(体育マネジメント学)
		健康スポーツ演習c 森の体験活動
その他	准教授	末松 加奈 (42) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		リテラシー演習 ※ キャリア実践演習1 キャリア実践演習2 生活イノベーション最前線 ビジネスイノベーション研究 (ケーススタディ1)
その他	助教	原田 晋吾 (42) ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		リテラシー演習 ※
その他	講師	松山 直輝 (37) ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		生活イノベーション概論 ※ ダイエット&フィットネス 社会現象と哲学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	阿部 貴美子 (65) ＜令和7年9月＞ Ph. D
		ジェンダー論
その他	講師	尹 青青 (38) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2
その他	講師	織 勇人 (53) ＜令和9年4月＞ 学士(芸術)
		エクステリア演習
その他	講師	伊藤 優子 (51) ＜令和8年9月＞ 家政学学士
		公衆衛生学Ⅰ（総論） 公衆衛生学Ⅱ（各論）
その他	講師	岩井 隆浩 (47) ＜令和8年4月＞ －
		ドローン活用とビジネス ※
その他	講師	大木 一 (51) ＜令和9年9月＞ 工学修士
		ランドスケープデザイン論
その他	講師	大久保 歩 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		哲学入門
その他	講師	岡田 大助 (68) ＜令和8年9月＞ 理学博士
		生化学（総論） 代謝栄養学（生化学各論）
その他	講師	小川 修史 (46) ＜令和8年9月＞ 博士(工学)
		ユニバーサルデザインⅠ（生活） ユニバーサルデザインⅡ（環境）
その他	講師	小澤 直子 (55) ＜令和9年4月＞ 博士(農学)
		社会園芸
その他	講師	小野 恭葉 (34) ＜令和7年4月＞ 博士(人文学)
		リテラシー演習 ※
その他	講師	折居 巧朗 (26) ＜令和7年4月＞ 体育学修士
		健康スポーツ演習a 健康スポーツ演習b
その他	講師	柏木 穂波 (61) ＜令和8年4月＞ 学士
		住居デザイン演習C 住居デザイン演習D 建築総合演習
その他	講師	加藤 大貴 (31) ＜令和8年9月＞ 修士(経済学)
		行動経済学
その他	講師	神田 晴彦 (45) ＜令和7年9月＞ 博士(経営学)
		マーケティング基礎
その他	講師	吉川 絵梨 (50) ＜令和9年9月＞ 博士(学術)
		臨床栄養学実習
その他	講師	小池 英穂 (54) ＜令和7年9月＞ 修士(人間生活学)
		比較食文化・食生活論 こどもの食とアレルギー 食空間コーディネート論

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	阿部 貴美子 (65) ＜令和7年9月＞ Ph. D
		ジェンダー論
その他	講師	尹 青青 (38) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2
その他	講師	織 勇人 (51) ＜令和9年4月＞ 学士(芸術)
		エクステリア演習
その他	講師	伊藤 優子 (50) ＜令和8年9月＞ 家政学学士
		公衆衛生学Ⅰ（総論） 公衆衛生学Ⅱ（各論）
その他	講師	岩井 隆浩 (46) ＜令和8年4月＞ －
		ドローン活用とビジネス ※
その他	講師	大木 一 (49) ＜令和9年9月＞ 工学修士
		ランドスケープデザイン論
その他	講師	大久保 歩 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		哲学入門
その他	講師	岡田 大助 (67) ＜令和8年9月＞ 理学博士
		生化学（総論） 代謝栄養学（生化学各論）
その他	講師	小川 修史 (46) ＜令和8年9月＞ 博士(工学)
		ユニバーサルデザインⅠ（生活） ユニバーサルデザインⅡ（環境）
その他	講師	小澤 直子 (53) ＜令和9年4月＞ 博士(農学)
		社会園芸
その他	講師	新井 啓予 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		リテラシー演習 ※
その他	講師	矢戸 渉 (44) ＜令和7年4月＞ 体育学修士
		健康スポーツ演習a 健康スポーツ演習b
その他	講師	柏木 穂波 (59) ＜令和8年4月＞ 学士
		住居デザイン演習C 住居デザイン演習D 建築総合演習
その他	講師	加藤 大貴 (30) ＜令和8年9月＞ 修士(経済学)
		行動経済学
その他	講師	神田 晴彦 (45) ＜令和7年9月＞ 博士(経営学)
		マーケティング基礎
その他	講師	吉川 絵梨 (48) ＜令和9年9月＞ 博士(学術)
		臨床栄養学実習
その他	講師	小池 英穂 (54) ＜令和7年9月＞ 修士(人間生活学)
		比較食文化・食生活論 こどもの食とアレルギー 食空間コーディネート論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	齋藤 尚樹 (62) ＜令和7年4月＞ 学術修士
		Society 5.0論
その他	講師	佐野 浩太郎 (38) ＜令和7年4月＞ 修士(化学工学)
		知的財産権を学ぶ ※
その他	講師	澤田 佳与子 (65) ＜令和8年4月＞ 学士(家政学)
		ガーデニング実習Ⅰ ガーデニング実習Ⅱ
その他	講師	清水(田村) 光 (48) ＜令和7年9月＞ 学士
		法とくらし
その他	講師	鄭 敬妹 (44) ＜令和7年4月＞ 修士(人文科学)
		韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2
その他	講師	大穀 郁子 (63) ＜令和7年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2
その他	講師	高橋 一哉 (65) ＜令和7年4月＞ 工学修士
		知的財産権を学ぶ ※
その他	講師	高橋 信勝 (64) ＜令和7年9月＞ 修士(経済学)
		経済学入門
その他	講師	滝沢 真美 (63) ＜令和7年9月＞ 修士(家政学)
		色彩論
その他	講師	田村 健治 (56) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		基礎化学
その他	講師	辻本（佐伯）恵太 (37) ＜令和7年4月＞ 修士(理学)
		自然科学に親しむ
その他	講師	土山 玄 (39) ＜令和7年4月＞ 博士(文化情報学)
		データサイエンス入門
その他	講師	中井 良太 (42) ＜令和7年4月＞ 修士(法学)
		人権と平和
その他	講師	中川 淳 (63) ＜令和8年9月＞ 博士(経営管理)
		マネーフローの世界とくらし
その他	講師	中村 絢子 (36) ＜令和7年9月＞ 修士(スポーツ)
		体育講義 体育実技
その他	講師	西村 彰敏 (51) ＜令和8年9月＞ 博士(工学)
		構造力学A 構造力学B 構造計画 構造力学C
その他	講師	浜内 久乃 (37) ＜令和8年9月＞ 学士
		SNSプロモーションとマーケティング
その他	講師	濱田 恵理子 (66) ＜令和8年9月＞ 学士(農学)
		インテリアグリーン

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	齋藤 尚樹 (62) ＜令和7年4月＞ 学術修士
		Society 5.0論
その他	講師	佐野 浩太郎 (38) ＜令和7年4月＞ 修士(化学工学)
		知的財産権を学ぶ ※
その他	講師	澤田 佳与子 (64) ＜令和8年4月＞ 学士(家政学)
		ガーデニング実習Ⅰ ガーデニング実習Ⅱ
その他	講師	清水(田村) 光 (48) ＜令和7年9月＞ 学士
		法とくらし
その他	講師	鄭 敬妹 (44) ＜令和7年4月＞ 修士(人文科学)
		韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2
その他	講師	佐藤 由実 (60) ＜令和7年4月＞ 法学修士
		英語コミュニケーション1 英語コミュニケーション2
その他	講師	高橋 一哉 (65) ＜令和7年4月＞ 工学修士
		知的財産権を学ぶ ※
その他	講師	高橋 信勝 (64) ＜令和7年9月＞ 修士(経済学)
		経済学入門
その他	講師	滝沢 真美 (63) ＜令和7年9月＞ 修士(家政学)
		色彩論
その他	講師	田村 健治 (56) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		基礎化学
その他	講師	辻本（佐伯）恵太 (37) ＜令和7年4月＞ 修士(理学)
		自然科学に親しむ
その他	講師	土山 玄 (39) ＜令和7年4月＞ 博士(文化情報学)
		データサイエンス入門
その他	講師	中井 良太 (42) ＜令和7年4月＞ 修士(法学)
		人権と平和
その他	講師	中川 淳 (62) ＜令和8年9月＞ 博士(経営管理)
		マネーフローの世界とくらし
その他	講師	中村 絢子 (36) ＜令和7年9月＞ 修士(スポーツ)
		体育講義 体育実技
その他	講師	西村 彰敏 (50) ＜令和8年9月＞ 博士(工学)
		構造力学A 構造力学B 構造計画 構造力学C
その他	講師	浜内 久乃 (36) ＜令和8年9月＞ 学士
		SNSプロモーションとマーケティング
その他	講師	濱田 恵理子 (65) ＜令和8年9月＞ 学士(農学)
		インテリアグリーン

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	林 浩一 (63) ＜令和7年9月＞ 博士(工学)
		ロジカルシンキングとデザイン思考
その他	講師	林 省吾 (49) ＜令和7年9月＞ 博士(医学)
		解剖生理学Ⅰ（解剖学） 解剖生理学Ⅱ（生理学）
その他	講師	平野 達 (29) ＜令和7年4月＞ 修士(異文化コミュニケーション学)
		異文化コミュニケーション
その他	講師	藤田 敦 (35) ＜令和8年4月＞ 修士(工学)
		住居デザイン演習C 住居デザイン演習D 建築CAD演習
その他	講師	本間 啓誉 (32) ＜令和7年4月＞ 学士(法学)
		法学入門（日本国憲法）
その他	講師	前嶋 謙二 (69) ＜令和9年4月＞ 修士(生活環境学)
		建築デザイン演習A 建築デザイン演習B
その他	講師	松本 健 (52) ＜令和8年4月＞ 経営学修士
		データサイエンス基礎（生活とデータ）
その他	講師	宮内 泰之 (55) ＜令和7年4月＞ 博士(農学)
		食生産体験演習A 食生産体験演習B
その他	講師	宮崎 晃子 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康スポーツ演習a 健康スポーツ演習b
その他	講師	持井 美紅 (36) ＜令和7年9月＞ 修士(経営システム)
		デジタル&AI 基礎
その他	講師	森山 朗 (54) ＜令和7年4月＞ 学士(工学)
		知的財産権を学ぶ ※
その他	講師	山岡 義草 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(経営学)
		フードビジネス概論
その他	講師	山本（稀木）美樹枝 (57) ＜令和8年4月＞ 修士(工学)
		建築環境学A 住居設備 建築デザイン演習A 建築環境学B 建築デザイン演習B 建築環境システム
その他	講師	吉田 孝志 (52) ＜令和7年4月＞ 博士(システム・マネジメント)
		情報リテラシー基礎
その他	講師	吉武 博通 (70(高)) ＜令和7年4月＞ 学士(法学)
		リーダーシップ基礎 アントレ・イントレプレナーシップ 社会起業と非営利組織

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	林 浩一 (63) ＜令和7年9月＞ 博士(工学)
		ロジカルシンキングとデザイン思考
その他	講師	林 省吾 (49) ＜令和7年9月＞ 博士(医学)
		解剖生理学Ⅰ（解剖学） 解剖生理学Ⅱ（生理学）
その他	講師	瀬端 陸 (46) ＜令和7年4月＞ 修士(異文化コミュニケーション学)
		異文化コミュニケーション
その他	講師	藤田 敦 (34) ＜令和8年4月＞ 修士(工学)
		住居デザイン演習C 住居デザイン演習D 建築CAD演習
その他	講師	本間 啓誉 (32) ＜令和7年4月＞ 学士(法学)
		法学入門（日本国憲法）
その他	講師	前嶋 謙二 (67) ＜令和9年4月＞ 修士(生活環境学)
		建築デザイン演習A 建築デザイン演習B
その他	講師	松本 健 (51) ＜令和8年4月＞ 経営学修士
		データサイエンス基礎（生活とデータ）
その他	講師	宮内 泰之 (55) ＜令和7年4月＞ 博士(農学)
		食生産体験演習A 食生産体験演習B
その他	講師	宮崎 晃子 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康スポーツ演習a 健康スポーツ演習b
その他	講師	持井 美紅 (36) ＜令和7年9月＞ 修士(経営システム)
		デジタル&AI 基礎
その他	講師	森山 朗 (54) ＜令和7年4月＞ 学士(工学)
		知的財産権を学ぶ ※
その他	講師	山岡 義草 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(経営学)
		フードビジネス概論
その他	講師	山本（稀木）美樹枝 (56) ＜令和8年4月＞ 修士(工学)
		建築環境学A 住居設備 建築デザイン演習A 建築環境学B 建築デザイン演習B 建築環境システム
その他	講師	吉田 孝志 (52) ＜令和7年4月＞ 博士(システム・マネジメント)
		情報リテラシー基礎
その他	講師	吉武 博通 (70(高)) ＜令和7年4月＞ 学士(法学)
		リーダーシップ基礎 アントレ・イントレプレナーシップ 社会起業と非営利組織

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	吉村 貴之 (55) ＜令和7年9月＞ 博士(学術)
		世界の歴史

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	吉村 貴之 (55) ＜令和7年9月＞ 博士(学術)
		世界の歴史

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
- ・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。
- ・その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- ・教員がバディカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧がキヨラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のがキヨラム(新がキヨラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のがキヨラム(旧がキヨラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・令和6年9月松山直輝助教退職
- ・令和7年2月加地雄一准教授退職
- ・令和7年3月海野るみ教授退職
- ・令和7年3月小野春菜講師・折居巧朗講師・大穀郁子講師・平野遼講師辞任
- ・令和7年4月北見由奈教授・高橋幸子教授就任
- ・令和7年4月新井啓予講師・矢戸渉講師・佐藤由実講師・瀬端睦講師・松山直輝講師就任

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・**認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合**は、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。

- ・A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数（α）	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数（α）の4 分の3以上）
13 名	7 名	10 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高专】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （A'）	助手 (A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （B'）	助手 (B'）
14	9	0	1	24	24	3	12	10	0	1	23	23	3
(12)	(11)	(0)	(1)	(24)	(24)	(3)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （C'）	助手 (C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （D'）	助手 (D'）
14	8	0	1	23	23	3	14	8	0	1	23	23	3
[]	[Δ1]	[]	[]	[Δ1]	[Δ1]	[]	[]	[Δ1]	[]	[]	[Δ1]	[Δ1]	[]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67	1	7
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{23}{24} = \boxed{95.83} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{23}{24} = \boxed{95.83} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{23} = \boxed{4.34} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	海野 るみ	R7.3	自由	英語コミュニケーション1	②	R7.3自己都合のため就任辞退（6）						
				自由	英語コミュニケーション2	②							
				必修	初年次ゼミB	①							
				自由	英語セミナー	①							
				必修	共創プロジェクトゼミA	①							
				必修	アドバンストゼミA	①							
				必修	アドバンストゼミB	①							
				選択	食科学総合演習	①							
				必修	卒業研究A	①							
				必修	卒業論文・卒業制作	①							
2	准教授	加地 雄一	R7.2	自由	心理学	②	R7.2自己都合のため就任辞退（6）						
				必修	初年次ゼミA	①							
				必修	共創プロジェクトゼミA	①							
				必修	アドバンストゼミA	①							
				必修	アドバンストゼミB	①							
				必修	卒業研究A	①							
				必修	卒業論文・卒業制作	①							
				必修	卒業研究B	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	4	科目	自由	0	科目	自由	3	科目	自由	1	科目
		計	19	科目	計	15	科目	計	3	科目	計	1	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記（3）- ① ・ （3）- ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
2	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0
		自由	4	科目	自由	0	科目	自由	1
		計	19	科目	計	15	科目	計	1

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{24} = 8.33 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

- 人

- (注)・（3）- ①、（3）- ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和7年度開設の学科等の場合、（D）+（F）と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

番号 1：退職者が担当予定していたほぼすべての授業科目について、後任者がシラバス及び時間割等をそのまま引き継ぐこととなった。

番号 2：開設年度直前の急な退職だったため、後任者の補充が間に合わず、心理学については、急遽、本学他学科の教員が時間割を前期から後期に変更して担当することとなった。

そのほかの主要授業科目については、同学科の基幹教員が引き継ぎ担当することとなった。

「学生への周知方法」

4月に行う学生向けのオリエンテーションにおいて、開講時期の変更について説明を行った。

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認 可 時 (令和7年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に務めるとともに、教育研究実施組織における教員編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。（生活共創学部生活共創学科、こども教育学科）	【届出】 遵守事項	退職年齢を超える教員の後任人事については、生活共創学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。また、教員採用計画においても中長期的な人事計画を策定し、教員組織編制の適正化を図っている。（7）	履行中	定年を超える予定の教員の後任は、公募を実施し外部から採用する予定である（7）
認 可 時 (令和〇〇年)	なし	【認可】 助言事項		履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和●●年度)	なし	【A C】 指摘事項 (是正)		履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)	なし	【A C】 指摘事項 (改善)		履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□度)	なし	【A C】 指摘事項 (法令違反)		履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	なし	【A C】 指摘事項 (是正)		履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	なし	【A C】 指摘事項 (改善)		履行済	

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は

寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜生活共創学部 生活共創学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設の変更 教室数36室	男女共学化に伴い、入学する男子のために教室を 男子ロッカー室兼更衣室に改修した。

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京家政学院大学ファカルティ・デベロップメント委員会を平成17年度から設置している。

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

令和7年度第1回委員会を令和7年4月25日に開催した。年度内には全6回の開催を予定している。
委員会は、委員会規則第3条のとおり、副学長、学部長、研究科長および各学科・専攻から選出された教員と職員で構成されている。

c 委員会の審議事項等

令和7年度は、次の活動内容について審議を予定している。

- ・ 学生による授業評価の実施について
- ・ 公開授業 (教員相互の授業参観) について
- ・ 授業評価アンケートによる教員表彰被表彰者の推薦について
- ・ 授業評価、公開授業参観記録、研修会報告の公表方法について
- ・ FD講演会の実施計画について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート結果の公開を実施
- ・ 全教員を対象とした授業評価アンケートの実施
- ・ FD・SD (講演) 研修会の実施
- ・ 教員相互の授業参観の実施 (全科目公開授業、前年度表彰授業の公開も有り)
- ・ FD・SD外部研修会への参加 等

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケート結果の公開 (ホームページ)
- ・ 授業評価アンケートの実施 (前・後期実施)
- ・ FD・SD (講演) 研修会 (毎年10月頃: 基幹教員と職員が対象)
- ・ 教員相互の授業参観の実施 (前・後期実施: 全科目公開授業、前年度表彰授業の公開も有り)
- ・ FD・SD外部研修会への参加 等 (千代田区キャンパスコンソ、大学コンソーシアム八王子等)

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・ 授業評価アンケートの実施 (基幹教員100%の実施率)
- ・ FD・SD (講演) 研修会 (基幹教員 約85.5%の参加率)
- ・ 教員相互の授業参観の実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ファカルティ・デベロップメント委員会は、「授業に関するアンケート調査」の評価結果及び評価結果に基づいて実施した結果分析について

教員にフィードバックしている。

教員は、フィードバックされた評価結果並びに結果分析に対して、コメント及び改善案をファカルティ・デベロップメント委員会に提出する。

ファカルティ・デベロップメント委員会は、教員からのコメント及び改善案に基づく授業改善を支援している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期7月・後期1月に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケート結果をホームページにて公開し、グーグルクラスルームでフィードバックしている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和7年度の自己点検・評価については、概ね11月以降に点検作業を始め、年度末に総括をする予定となっているため、現時点では設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見はない。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年度版は令和8年5月1日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開予定（令和8年5月ころ）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和8年に高等教育評価機構に改善報告書等を提出予定、令和12年に同機構の評価を受審予定。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和 7 年度）

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。